

ドラッグインフォメーション

2019年11月改訂

販売名	希塩酸「コザカイ・M」	発 売	吉田製薬株式会社					
局方名	日本薬局方 希塩酸	製造販売	小堺製薬株式会社					
洋 名	Dilute Hydrochloric Acid	発売年月	1949年8月					
一般名	希塩酸	薬価収載年月	1950年10月					
剤 形	液 剤	薬 価	10mL 9.00	健保適用				
規制区分	普通薬	日本標準商品分類番号	872335					
厚生労働省薬価基準 収載医薬品コード	2335001X1019	YJコード	2335001X1060					
性状	本剤は無色の液で、においはなく、強い酸味がある。 比重 d_{20}^{20} : 約1.05							
組成	本剤は塩化水素9.5~10.5w/v%を含む。							
効能 効果	低・無酸症における消化異常症状の改善							
用法 用量	通常成人1日量0.5~1.0mLを約200mLの水にうすめるか、又はリモナーデ剤として1~数回に分けて経口投与する。 なお、年齢、症状により適宜増減する。							
薬理 作用	塩酸は、生体組織に対して強い刺激、腐食作用を現すが、至適濃度では、ペプシノーゲンを活性化してペプシンとし、たん白質消化機能をたかめる。防腐効果を有し、胃壁に刺激を与え、十二指腸においてプロセクレチンを活性化し、間接的に唾液、腸液の分泌を促進する。また熱性患者に対して止渴、清涼感をもたらす効果を有する。胃酸欠乏症に対して希塩酸、塩酸リモナーデとして用いられる。							
使用 上の 注意	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【禁忌（次の患者には投与しないこと）】 アシドーシスのある患者〔アシドーシスが悪化するおそれがある。〕 </div> 1. 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。 <table border="1" style="margin-left: 20px; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 50%;">種類\頻度</td> <td>頻度不明</td> </tr> <tr> <td>長期投与</td> <td>便秘</td> </tr> </table> 2. 適用上の注意 (1) 投与に際しては、必ずうすめること。 (2) 投与に際しては、歯のホーロー質をいためることがあるので、ストローなどを用いるか、投与後、炭酸水素ナトリウム水で含嗽させること。				種類\頻度	頻度不明	長期投与	便秘
種類\頻度	頻度不明							
長期投与	便秘							
取 扱 上 の 注 意	貯 法：気密容器 配合禁忌：酸性のため種々の配合禁忌を起こす。アルカリ性物質、有機酸アルカリ塩類とは変化を起こす。塩素イオンのために銀、鉛、第一水銀と沈殿を生じる。またアクリノール液に加えると結晶を析出する。希塩酸の配合された水剤は調製に際して水を加えて全量とするまでに、その酸性によって変化を起こすことがあることに注意を要する。そのほか塩素酸塩、硝酸塩によって酸化されて塩素を発生する。							
備 考	包装単位：500mL	文 献 請求先	吉田製薬株式会社 学術部 東京都中野区中央5-1-10					